

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	空間構造における連成・接触問題小委員会		主 査 名：濱本卓司 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)		委員長名：緑川光正 主 査 名：竹内 徹
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2020 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>(設置目的)</p> <p>初年度：現在までの様々な災害に対する被害調査を行い、被害と被害を及ぼした環境外力・衝撃力の相関関係を調べる。活動の成果を 4 年度に書籍として刊行するために、目次案と内容を検討し、委員の担当を決定する。</p> <p>2 年度：前年度に引き続き被害調査・情報収集を行うとともに、各委員間相互の検討を通じて原稿をまとめる。</p> <p>3 年度：引き続き被害調査・情報収集を行う。また、刊行に向けた原稿の全体調整を図り、修正稿としてまとめ成果物の刊行に向けた整理を行う。</p> <p>4 年度：最終調整を経て、「空間構造における連成・接触問題」に関する書籍を刊行する。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：濱本卓司 (東京都市大学) 幹事：遠藤龍司 (職業能力開発総合大学校)、近藤典夫 (日本大学) 委員：大嶋昌巳 (千代田化工建設)、高野真一郎 (大林組)、登坂宣好 (東京電機大学)、松井徹哉 (名古屋産業科学研究所)、福住忠裕 (元神戸大学)、山田貴博 (横浜国立大学)、柴田良一 (岐阜高等専門学校)、磯部大吾郎 (筑波大学)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)			
2016 年度予算	60,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	1. シェル・空間構造セミナー2016「新たなる荷重に対する備え—津波・洪水・土石流」 参加者数：43 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 「シェル・空間構造」セミナー 2016 を開催し、津波被害に対する調査結果をまとめて十分な成果を得た。</p> <p>2. 津波外力の算定式についての評価・検討を行い、外力評価の正当性を示した。</p> <p>3. 建物の被害のメカニズムの検討を行い、それを明らかにした。</p> <p>4. 今年度の目標は十分に達成できた。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	1. 特になし